

- ・ 一般質問の記事：質問した議員が1300文字程度に要約して執筆したものです。原文を尊重して掲載しています。
- ・ 発言が「～である」調に記載されていますが、質問・答弁共に「です・ます」調で発言されています。
- ・ 「会議録」は南関町図書館および町ホームページで閲覧できます。9月議会分は12月に公開予定。

「町の災害対策について」

堆積した土砂や、堰の在り方

今回の豪雨被害について、その大きな要因としては例年に比べ雨量の多さに尽きるが、その他どういうことが考えられるか。

(町長) まず雨量については、降り始めから51時間の連続雨量が766ミリ、時間最大雨量が63ミリ、一日最大雨量が556ミリで、6日から14日までの総雨量が1,072ミリ、つまり町の年間総雨量の約半分が、9日間で降ったという事になり、町の山林や河川等が耐え切れなかったと思われる。

雨量の多さについては、誰が考えてもわかると思う。その他小さな水路も含め河川等に堆積した土砂や、堰の在り方によるものも大きいと思われるが、主に被害が出たところの区長さんからは、今回を機に泥上げなどの要望は上がっていますか。

(建設課長) 河川等については、確かに区長さんより堆積土砂の撤去願いをいただいております。ご指摘いただいている河川については、順次計画的にやっているところであるが、まだ出来ていないところも多数ある。

ハザードマップの見直し 災害状況の共有

何処が優先という事もないが、今回被害が出たところについては、早急な対応が必要と思われる。今年は天

災だったといえるが、何もしいまま同じような事が起これば、それは人災といわれても仕方ない。

また、ハザードマップの見直しについては、今回の災害を参考に、例えば水が溢れたところだけでなく、その原因となる土砂崩れや、小さい川の氾濫なども色分けなどで分かりやすくしておけば、より注意喚起に繋がるのではと思う。

(総務課長) 国道443号の中山交差点や八重丸の堰上流付近、更には関川と長山川が合流する長山草村地区等大きな被害が出ているところについては、地元の方達の意見等を十分聞き入れたところで作成していきたい。

他にも、不審者情報と同じように、道路冠水や道路・橋梁の崩壊等があった場合に、気づいた人誰でも町のホームページにアップすることが出来、そして誰もがアクセス出来るようになれば、避難経路等分かりやすくなると思う。今後そのような機器を使った災害状況の共有も併せて検討すべきである。



被災ゴミ

災害の二日後には、被災ゴミの収集場を設けてもらったことについては、非常に助かったところではあるが、衛生面を考えたら、一日でも早



文教厚生常任委員長
議会運営委員

井下忠俊

いに越したことはないと思うし、罹災証明の発行も更なる迅速さを求めたい。そのような中、後片付けに対し人手は足りていたのか。

(税務住民課長) 人手不足に関する話は1、2件聞いているが、地域の方達や親戚、知人の協力を得られた人が大半だったと聞いている。

人手があるところだけで災害が起きるわけではない。何時でも協力出来るようボランティアの登録・更新を毎年行うべきだと思う。更には軽トラックや重機なども把握しておけば尚良いと思う。

まとめ

近年、大気温の上昇が原因とみられる中、各地で予想を上回る被害をもたらす災害が発生している。想定外だからこそ被害大きくなるのであり、想定内といえるような対策を講じておけば、最小限度の被害で済むのではないだろうか。人の体も小さな血管一つ詰まるだけで大変なことになる。河川の氾濫も同じことだと思う。その事をしっかりと肝に銘じて今後の対策を検討してほしい。



副議長
文教厚生常任委員

境田敏高

答弁した事項のその後

議員は常に住民の中に飛び込んで、住民の声、特に弱者の声、声なき声や知恵をつかみ、それを議員の声、知恵として議員活動に取り組みねばならない。議員が一般質問した、また提案した事案はこうしたこつこつと声を聞き、蓄え下調べされている。住民の声が改善され実行されなければ価値がない。

一般質問ですぐに施策に活かされるものもあるが、中には何年も示されないものもある。町長などが「検討します」と答弁した事案はどのように進んでいるのか。どのような対応、対策をとっているのかなどを住民に知らせなければならない。一般質問は住民の声を施策に活かし、行政の進展、地域の振興発展の実現をするための質問であるからである。そこで、一般質問への対応について町長、教育長が「検討します」などと答弁した事項はその後どのように対応しているのか。

(町長) これまでの一般質問の中で検討しますと答弁いたしました案件につきましては、議会後担当部署にその案件の内容について様々な観点から予算を含め実現可能かを検討させ、共に協議を行っているところである。

「議会における「検討します」等の答弁後の対応は」

期限を定め書面での報告

一般質問に執行部が「検討します」などという趣旨の答弁をしたものについて、その対応、進捗状況を議会に書面で報告すべきである。それを元に議会だより、広報等で公表すれば議員、議会活動が見える。また、執行部の取り組みも住民の方々から大いに評価される。その点からも「検討します」などの答弁した事案は、期間を定め示すべきである。

(町長) 議会への報告は現在できていない。今後は、議会終了後にも課長等会議を開催し課題の抽出を行い、検討、協議を行った上で、議会全員協議会等で報告ができるよう取り組んでいく。

(教育長) 議会での質問時期や内容も見える協議資料を提示して会議に臨んでいる。これまで答弁に沿った対応ができていない案件がいくつもありその責任の重さ、そして議会対応の難しさを痛感する日々である。



対応状況の公開

調査検討するのに時間を要するものもあるかもしれないが、実際できないことはその理由と明確な答弁があればいい。またそれを改善、解消するためにまた議論し、煮詰めればいいと思う。まずどのように進んでい

るかが見えるようにすべきである。議会一般質問への対応状況として質問の要旨、答弁の要旨、現在の対応状況等を設け対応済みの案件、検討中の案件などを公表すべきである。冒頭での答弁では、全協で報告できるようにしたいと思っているとのことであったので、期待している。もう一つ南関ホームページにも配信すべきと思うが、いかがですか。

(総務課長) 今のところホームページの掲載は考えていない。

まとめ

行政改革で「職員の提案制度を導入し住民の信頼に応えるため開かれた町政を推進しなければなりません」と謳っております。また、住民の視点に立った情報下で「行政情報を積極的に発信することにより説明責任を果たすことを図ります」と早くから謳ってある。

議員も同じである。住民に信頼されるように提案もしている。行政のチェックだけではない。住民あつての議会である。立場が違っているが基本は住民の福祉向上の上に立って私たちも活動している。検討事項は検証し、公表し、見える化を進め住民に信頼される行政を行い、安心して住めるようにすべきである。



「短時間豪雨対策として『情報発信』の重要さ」



広報常任委員会委員長
文教厚生常任委員

中村正雄

古い基準のハザードマップをなぜ配布

南関町のハザードマップは平成30年3月発行で、全戸配布されている。発行する3年前に国土省は水防法を改正し1,000年に1度程度の想定し得る最高規模の降雨量、新基準に改正していくようにとした。それから3年も経っているのにどうして古い基準（100年に1度程度を想定した）で配布されたのか。また配布されたハザードマップには基準値が記載ないのはなぜか。

（総務課長）

熊本市町村では、県河川部分で県が見直しを行った後にハザードマップを作成しているところと、独自に作成しているところがある。南関町は県が昨年想定浸水想定区域を作成しており、それが出来てから新しい基準のハザードマップを作成することとしている。配布のハザードマップに基準を記載していなかったのは大変申し訳ない。



7月豪雨で14人犠牲になった球磨村の特別養護老人ホーム千寿園付近は、古い基準のハザードマップでは浸水が見込まれない地域だったが、新基準では10mから20mの浸水地域に指定されている。南関町でも7月豪雨でハザードマップ以外の場所があった。早く新基準のマップを作ることで危機意識と準備意識が高まるので取り組んでほしい。

（総務課長） 関川水系は昨年策定されており今回、町のホームページに掲載している。内田川と久井原川は県が出し次第作成を行う。今回、高さを持ったデータ地図を作成したので、それを基に1,000年に1度の雨量で2日間1,000ミリ以上降った場合のシミュレーション等を進めていきたい。

防災無線のデジタル化に情報量を増やすアプリを

南関町は情報発信量が非常に少ない。例えば台風10号関係が9月3日から7日まで「愛情ねっと」で流れたので集計すると、大牟田市が49件、荒尾市が27件、長洲町は19件、そして南関町は5件。

（総務課長） 南関町は、ほとんどの情報は防災行政無線の直接放送で行っておりスマホやSNSでの情報発信が遅れているとは認識はしている。

7月豪雨で町民の方が本当に欲しい情報は、フェイスブック、ツイッターなどSNSで流れていた。関川の水量アップや中山交差点の動画やコメント、これらの投稿情報を活かすべき。それと定点ライブカメラで、主要箇所の状況変化を見ることができれば、避難準備の判断につながる。防災無線のデジタル化で、スマホア



プリに入れることを考えてほしい。

（総務課長） 予算の範囲内で検討していく。

業者提案のプロポーザルをどういう条件を付けて進めるのか懸念している。

（総務課長） 基本的な防災行政無線プラス防災アプリの連動を条件にしている。機能で双方向性という言葉を入れると1社になる可能性があり、たくさんの業社が入れるように幅広い仕様書を作成していく。

その考えは違う、何のためか目的をしっかりと考えて欲しい。防災無線は住民の命を守るために一人も取り残すことなく必要な情報を早く届けること。そのために南関町が必要だと判断した機能が1社しか持たなくとも住民のためになるなら、機能として載せるべき。

（町長） 1社とかそういったことは関係なく本当に町が必要とする情報を仕様書に入れていく。どんな機能にするか、議会はもちろん詳しい方も含めてそういったいろんな話をして南関町にあったアプリを作り上げることができればと思っている。



広報常任副委員長
総務産業常任委員

西田 恵介

学校で感染者発生時

感染者が発生した場合、学校の臨時休校日数の基準及び感染者差別が発生した場合の対応について尋ねる。

(町長) 感染した家族をはじめとする全ての人が人権侵害を受けることがないように広報誌などを活用して町民への人権啓発と感染症に関する正確な情報の周知に努めている。また、8月に有明圏域定住自立圏において緊急共同メッセージを発信したが、この中で人権に配慮した冷静な行動をお願いしている。

(教育長) 新型コロナウイルスの感染について今はどの学校からも感染者が発生する状況下であり、町内の学校で関係者の感染が判明した場合の対応については、県教育委員会から示されている。市町村立学校の初動対応に基づき、各学校と連携をして対応の備えをしている。その内容は、学校や地域の感染状況により臨時休校等の措置の範囲や実施期間が異なる4段階のレベル分けがなされている。

また、8月には新型コロナウイルス感染症に関する差別偏見の防止に向けて文部科学大臣からのメッセージが届いた。学校にはこの周知を図るとともに児童、生徒同士はもとより

「学校におけるコロナ対策について」

児童、生徒と教職員等の心の距離を縮める絆づくりを更に工夫し、学校生活が充実するようにお願いしている。

学校へ外部から来られる訪問者への対応は。

(教育長) 消毒、マスク着用をお願いしている。国から指導例がでているので準じた形で対応している。

感染者差別

全国でコロナによる差別事例が起こっているが、近隣で差別事例があったということは把握をしているか。

(教育長) 新聞報道等でいくつか知っているが感染された方が引っ越しを余儀なくされた、そういう事例についても聞いている。



私も心が痛むようなことをいくつか聞いているが、南関町で起こらないとは言えないので、町で差別をなくすための住民の方への啓発についてはどのようにしているか尋ねる。

(福祉課長) 今後、広報誌による啓発を図りたいと考えている。コロナ感染拡大防止のため現在、集会所学習会や研修会等が開催できないため、チラシ等で啓発していきたい。

また、今年度作成する人権啓発冊子「しあわせをもとめて」の中でもこの内容を含め啓発を考えている。

人を集めての啓発は現状として考えにくいですが、防災無線等による啓発は考えていないのか。

(福祉課長) 防災無線、行政無線での啓発の呼びかけということは考えている。様々な媒体を利用して啓発を進めていきたいと思っている。

まとめ

新型コロナウイルスは、誰がなってもおかしくない現状であるが、学校はじめ町民の皆さんに向けてできるだけ感染のリスクが低くなるように、また感染したあとの対策をしっかりと町としてとっていただきたい。また、感染者が発生した場合の差別が起きないように町民の皆さんに理解していただくよう啓発も併せてお願いしたい。

学校再開後も対策に取り組めます！

県教育委員会、新型コロナウイルス感染症対策に関する協議会のQ&Aを県教育委員会ホームページに掲載しています。
以下に、主な事項を掲載しますが、より詳しい内容を御覧になりたい場合は、ホームページをご覧になるか各学校にお尋ねください。

協議会の詳細に関するQ&A

① 学校再開で「うつ病」に悩む方への対応、どのような支援をしますか？

3つの条件（感染の疑い、近隣住民、多くの人が密集、近距離での会話や声）が同時に満たされる状態に陥ることはもちろんのこと、1つ1つの条件が発生しないよう配慮します。県民に対しては、教室等のこまめな換気や喫煙の徹底、マスクを履かせるよう指導するなどです。

② マスク着用で苦しい場合は、どのような対応をしますか？

市街のマスクの取り扱い、支那や韓国から配布されたマスクの取り扱いやマスクの着用が義務づけられます。手洗いやマスクの着用が義務づけられることをご確認ください。

③ 臨時休校に伴う学校の遅れについて、どのような対応をしますか？

これまでの県立学校の授業進捗を把握したうえで、学習内容の遅れが十分な程度に達している場合は、個別に補習を実施したり、遅れの授業学習を適切に補正したりするなどの支援を行います。

④ 差別に悩む相談体制の整備で、差別防止や学習支援を、協力して取り組む体制を整えます。

学校長や教職員研修会を中心とした仕組みが協議会から、児童生徒の状況把握に活用し、健康相談等の実施やスクールカウンセラー等による支援を行うなどして心の健康状態に適切に対応します。また、児童生徒の身体状況に合わせた段階的に運動を行い、身体に過度な負担がかからない運動を続けるなど、けが防止に十分に留意します。

この記事に関するお問い合わせ先：総務課 090-333-2600

知事・県庁 熊本県教育委員会
〒862-8500 熊本県中込町水町2丁目1番1号
Tel: 090-333-2600 Mail: kousaku@pref.kumamoto.jp
※本誌に付するご質問やご質問の回答は2週間以内です。

一 般 質 問

みなさんの生活にかかわる大切な内容について質問しました。

杉村「町道迎町・旭町線及び田町・古町線 拡張改良計画の有無！」 町長「一部改良で国庫補助にのせないで 町が責任を持って進める！」



総務産業常任委員
地方創生調査特別副委員長
有明広域行政事務組合議員

杉村博明

町道迎町・旭町線及び田町・古町線の歩道新設並びに拡張改良工事の計画の有無について聞く。

現在、庁舎建設が着工し工事が進んでいる中で第一小学校へと続く町道迎町・旭町線及び田町・古町線においては現在まで道路の拡張や歩道の新設がされないままであり、児童の通学路であるにも関わらず、なぜこの状況を改善されないのか、また昔からすると団地やアパート、個人住宅など住まいも増え車の往来も多くなり通学時の子どもの交通事故が危惧される。町長の見解を聞くと共に歩道の新設改良工事計画の考えを進めるとするならばいずれの委員会で話し合うか、また開催時期を尋ねる。

(町長) 竜瀬橋を渡り堀池園集落内の箇所については、前回の質問で指摘があり、一部改良で検討しているところであるが、部分的に空き地や農地の箇所はあるが、それ以外は両サイドに宅地等が立ち並び拡幅には慎重にならざるを得ないと考える。

るを得ないので交通規制をかけている状態であるため、今後は拡張以外の方法で安全面を促すためにスクールゾーンのカラー舗装などを検討していきたいと考えている。



児童の登下校時は南関町地域学校共同活動運営委員の皆さんが至るところでサポートしていただいている。なお、歩道の新設や改良工事を計画する委員会等はないが、教育委員会が主体として安全な通学路を確保するために年3回開かれている南関町通学路安全推進会議があり、ここで上がった案件を県への要望や町の事業として反映させていただいている。

まとめ

今回の一般質問は前回に引き続き、

児童の安全な通学路が早急に必要であると考えると共に庁舎だけが良くなっても周りの安全な環境づくりも同時に進めるのが行政の筋であり、現在町の振興計画に基づき道路整備を行っている」と答弁されているが、この区間は振興計画に載っていないからと道路整備が遅くなり、その間に事故等が発生する可能性も無きしに有らず、この箇所は早急に歩道の新設や拡張改良工事が必要と考える。

事故等が発生してからは遅すぎる。庁舎が完成すれば益々車の通行量が増え子どもの通学や近隣の住民の方々の交通事故が危惧される。最後に、一部改良を検討されているが、この区間は全線の拡張改良が是非とも必要であり、町の再考を願うものだ。



J A たまな南関総合支所を起点として古町の国道443号線交差点までを終点とした町道であり、江戸時代から残る旧街道で昔を偲ばせる街並みであり、現在は建て替え等が進み変わってきたが狭い通りで曲がりくねっており、車は自ずと徐行せざ



一小体育館の西側三叉路

生の声を聴く

南関町金型金属加工企業 連絡協議会のみなさん

& 広報委員



広報委員会では、町民の皆さんからのさまざまな生の声を聴き、議員活動の活性化と住んでよかった町づくりの一助になればと考えています。

このコーナーは、登場団体の統一見解でなく、登場された方達の声であり、これ以外にもいろんなご意見があると捉えています。読んで頂いてから「こんなこともあるよ」「こうしたことも要望したい」など、登場された方達だけでなく、読んで頂いた方達の生の声も議会にたくさん届くことを期待して、このコーナーを始めました。



Q 協議会として、現在の課題とこれからの計画は？

- コロナの影響で4月5月の売上高は6～8割減と苦戦したが、6月以降は7～9割まで回復してきている状況ではある。
- 自動車関連の企業が多いので、自動化、電動化、シェアリングなど自動車業界の動向に左右されるが、部品を供給する側である我々としては、海外とのネットワーク、サプライチェーンの見直しなど各社試行錯誤、模索中、日々の仕事をしっかりやって、良い物を作って行くという姿勢は変わらない。



Q コロナ禍での対応は？

- 助成金の申請、休みを増やして生産調整、5つの行い（手洗い・うがい、マスク、換気、喉を潤す、検温）の徹底、食堂などの3密回避対策、デスクワークでも仕切りを設置。消毒に有効な次亜塩素酸は設備が錆びてしまうので使えず、消毒液の入手に苦労した。



Q 協議会に加盟している企業の町内在住者の雇用率は10～30%ですが、皆さんが町内企業に就職しようとした理由は？

- 会社が南関町に進出してきたタイミングだったし、家が近かったことから就職。
- 大学卒業後、県外で就職する予定だったが、親からの企業進出の情報を聞いて試験を受けた。会社からも誘われた。
- 最先端の金型を勉強したいと思って就職した。
- 親元から近いところに就職してほしいとの意見を受け入れた。



Q 町内に就職してよかったこと？

- 朝時間に余裕がある。福利厚生が良い。有給などの休みが多いので、家族サービスができる。
- 金型設計の奥の深さとそこを研究する面白さ、高校・大学で身につけた技術が活かされた。
- 協議会の会議に参加することで他社の社長や工場長と出会えたり県外視察研修に参加したりして、自身の知見拡大ができています。
- 当社は人間関係が良い。人付き合いの部分ではトラブルもなく、良かった。
- どこかで知り合いと繋がったり、知り合いの子どもが入社してきたり、そのようにつながりが良い。
- 様々な分野の仕事ができて、いろんな経験ができる。



Q 町内雇用率がもっと増えるためには？

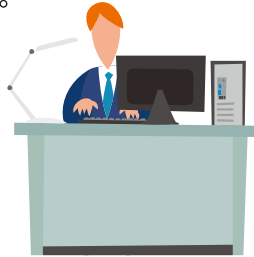


- 待遇、給料を若者に魅力のあるようにする。
- 南関で就職先を選べない。雇用先の数、職種がないのが問題。
- 名の知れた企業が親も安心する。
- 新卒で町内に就職したら、本人に月1万円の助成金を3年間出すような施策の実施。
- 中学校の時は南関町にどんな企業があるのか全く知らなかった。当然就職の選択肢に上がらない。中学校時代にどれだけ企業の情報を知ることが大切ではないか。
- 今の若い人はネットで給与額を判断材料にしているので、都会にはどうしても負ける。



- 都会は給料は良いけど出て行くお金も多いことなど町外に出たことがある人がその情報を若者に伝える。
- 子どもたちの企業訪問の機会を増やす。

- 中学校の職場体験を受け入れているが毎年は来てくれない。
- 若者の製造業に対する興味が薄れているように感じる。IT関連に持って行かれる。
- 先ずは興味を引かせることが一番大切。面白そうだなこの企業。と思わせる。YouTubeで企業のPRなど。
- 小中学校で南関町にどんな会社があるのかを紹介する授業をさせていただいたりして少しずつPRさせてもらっている。
- 会社の中身（人間関係が良い、待遇が良いなど）がわかり、居心地が良かったら残ってくれる。



「南関町金型金属加工企業連絡協議会」会員12社

吉野電子工業(株)	(株)二進製作所 熊本事業所
熊本工機(株)	(株)エム・ディ・エンジニアリング
(株)エヌ・エフ・ティ 熊本工場	ティエフオー(株) 熊本工場
富士ダイス(株) 熊本製造所	エイティー九州(株)
ネクサス(株)	(株)茂木製作所 九州工場
(株)小林製作所 熊本工場	イーザイ化成(株)



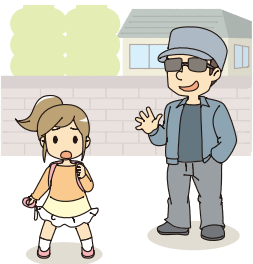
■ 後列左から

(株)茂木製作所 九州工場	原賀 大典 (相 谷)
エイティー九州(株)	山口闘士也 (上坂下)
(株)エヌ・エフ・ティ 熊本工場	北原 豊明 (関 東)
吉野電子工業(株)	立山 大峰 (細 永)

■ 前列左から

(株)小林製作所 熊本工場	小森田泰秀 (関 町)
(株)エム・ディ・エンジニアリング	松原 智浩 (関 町)
熊本工機(株)	津留 健治 (関 町)

Q 今後、南関町がこうなって欲しいなあと期待すること？



- 子どもを守るために防犯に力を入れてほしい。子どもが安心して外で遊べること。
- 集うところが少ない。一杯飲む場がほしい。
- 荒尾などへの通り道になっているので、魅力的な立ち寄り場があればいい。

- 南関インター、新幹線も近い。地の利を活かして集客できるような魅力のある町づくり。
- 魅力をもっと発信。南関に残るとこんなに良いことがあるよとアピールする。
- いすー1グランプリとかテレビでも放送されているようにもっと町のアピールに力を入れてほしい。
- トップ丸を使ったアピールをもっと派手にやって良い。
- コンパクトシティで魅力のある町ができることを期待する。
- 明るく元気な南関町に。



「生の声を聴く」を終えて・・・

人口減少社会の中で、若い世代の地方から都市への人口流出に歯止めがかからない。しかし意識調査を見ると、都会への転出意識は、今のシニア層、団塊世代の青春時の方が高く、現代の若者は「地元定着意識」が増えてきている。またいったん都会生活をして、家庭を持つ年代になり、故郷回帰意識が高まっている結果も出ている。そうした意識の時に、自分に合った居場所となる雇用先を故郷に見つけ、行動の引き金となっているようである。

今回参加の皆さんは、いきいきと今の生活を過ごし、家族と一緒に幸せな時間を送られているのがわかった。でも皆さんからの声でも出てきたが、これから社会に出ていく子どもたちの目は都会の魅力に注がれ、地元生活の良さを知らない。就職の選択肢に地元企業が入っていないのは残念である。地元企業で働くことの「魅力」を子どもたちにはもちろん、保護者の皆さん、学校の先生たち、そして町民全体に伝え、感じてもらうことがスタートだと感じた。

「町内就職の魅力づくりと発信」に力を注いでいくこと、若い人の目線で、若い人感覚での魅力づくりの重要性を確認する「生の声」であった。

広報常任委員会

南関中3年 ^{まつもと}松元 ^{ゆらん}夢蘭さん



南関町に住む18才未満の人たちに、町の未来を語ってもらうコーナーです。

私が考える、南関町の未来

私が考える未来の南関町は、住んでいる人しかわからない良さを色々な人に知ってもらう町にすることです。そして、人がたくさん来て、たくさんの方が住む町になるといいなと思います。そのためには、今あるホテルセキアと竹を活かしたいです。この二つがコラボして、人が集まる町にしたいです。具体的には、昼に来た人が竹明かりを作る体験をして、夜自分で作った竹明かりを灯した側でナイトプールをすると、この風景は映えが予想されます。そしてインスタグラムなどのインターネットでそれが広がり、若い人を中心に集まるきっかけをつくりたいです。そこから若い人に人気のあるタピオカ店やスムージーのお店、さらに南関そうめんを活かした南関そうめん流しをして子ども達にも楽しんでもらえるようにしたいです。このように、今ある南関町のよさを広げることでもっと人が集まる町にしたいです。

議会傍聴しませんか

9月定例議会の傍聴人数はのべ7人でした。

7日：2人、9日：2人、10日：1人、15日：2人（報道関係者のみ）

定例議会は、年に4回・・・3月、6月、9月、12月に開催。 ●どなたでも傍聴できます。 ●定員 30人

議会日誌

■7月

- ・7月13日(月) 総務産業常任委員会
- ・7月16日(木) 全員協議会、広報常任委員会
- ・7月28日(火) 広報常任委員会

■8月

- ・8月17日(月) 文教厚生常任委員会
- ・8月20日(木) 全員協議会、総務産業常任委員会
- ・8月27日(木) 議会運営委員会

■9月

- ・9月7日(月) 9月定例議会
- ・9月9日(水) 9月定例議会
- ・9月10日(木) 9月定例議会、総務産業常任委員会、文教厚生常任委員会、広報常任委員会
- ・9月11日(金) 全員協議会
- ・9月14日(月) 全員協議会
- ・9月15日(火) 9月定例議会
- ・9月23日(水) 全員協議会



ティークレイク



新型コロナ禍、想定外の災害発生など、今世界は何が起こってもおかしくない“まさかの時代”に突入したといえる。人間のエゴによって起こるべくして起こっていると言う人もいる。確かに科学技術の進歩によって人間は多くの豊かさを手に入れてきた。反面、大切なものを手放してきたのも間違いがない。不安や恐怖、あせりにはどうしても吞まれてしまうが、その思いになる自分を見つめて受け止めること、そして事実を正しく見ることが肝要である。そこに



これからの時代を生き抜く知恵があるように感じている。
 (北原)

□ 発行責任者

議長 橋永 芳政

□ 編集(広報常任委員会)

委員長 中村 正雄
 委員 北原 浩一郎

副委員長 西田 恵介
 委員 鶴地 仁